

## 大成功！クラスマッチ

7月20～21日とクラスマッチが行われました。今年から応援の制限などもなく、体育館に歓声が響き渡りました。その歓声は職員室まで届き、学校には生徒の明るい声があることがとても大切だと再確認しました。それでは結果発表です。

### 総合順位                      1位   3年1組                      2位   3年2組                      3位   2年1組

|         |    |      |    |      |    |             |
|---------|----|------|----|------|----|-------------|
| 男女混合バレー | 1位 | 3年1組 | 2位 | 3年1組 | 3位 | 3年2組        |
| 大縄跳び    | 1位 | 3年2組 | 2位 | 2年1組 | 3位 | 3年1組   3年3組 |
| 男子バスケット | 1位 | 3年3組 | 2位 | 2年2組 | 3位 | 2年1組        |
| 女子バスケット | 1位 | 3年2組 | 2位 | 1年1組 | 3位 | 3年1組        |
| 障害物 A   | 1位 | 2年2組 | 2位 | 2年1組 | 3位 | 1年2組        |
| 障害物 B   | 1位 | 3年1組 | 2位 | 3年2組 | 3位 | 3年3組        |





## 悔しさは人を成長させる

7月23日に夏の甲子園予選山形県大会の決勝が行われました。日大山形 VS 山形中央です。私は地区の高野連会長をしている関係で、県内の野球大会には顔を出しています。全国でも注目されている選手がいます。山形中央高校の武田選手。投手と野手の二刀流で、あの明德義塾高校の馬淵監督に、最も注目する選手と言われてからプロからも注目を集めました。素人の私が見てもその野球センスの良さはピカーです。聞けばとても性格も良く学校生活もしっかりと送っている生徒であるとのことでした。いろんな意味で私も注目していた選手です。準々決勝の鶴岡東戦では、8回裏に自らのバットで同点のホームランも放ちました。決勝は山形市内の高校対決ということもあり過去20年で最高の1万2千人の大観衆でした。素晴らしい試合でした。結果として日大山形の逆転勝利でした。私はバックネット下の役員席で観戦していたために選手の様子がはっきりと見えました。優勝の瞬間、マウンドに駆け寄り日大山形の選手たち、そしてガックリと地面に伏せて泣く山形中央の選手たち、見ている私も涙が出ました。特に山形中央は2年連続決勝で敗退。どれほど悔しかったでしょう。上位大会に繋がる最後、つまり決勝で負けるほど悔しいものはありません。まして甲子園まであと一步を2年間もと考えればどれほど辛いものか分かります。しかし、これも勝負です。甲子園に行く日大山形には他の県内の高校の分も頑張ってきてほしいです。そして山形中央の選手たちは、この悔しさは必ず自分を成長させると思います。

私のライン待ち受けの一言は「悔しさは人を成長させる」です。ちなみに待ち受け画面は、ここ数年で一番悔しかった時を思い出せる場所の写真となっています。2ヶ月に1回掲示する米商の合言葉がありますが、昨年「挑戦は成長」というものを掲げました。挑戦することが良い結果とつながる訳ではありませんが、間違いなく成長には繋がっています。この夏には甲子園大会の他にインターハイもあります。その大会に出場する人には、負けた選手の分も頑張ってきてほしいです。そして残念ながら夢の切符を逃した人多数。それらの人には「悔しさは人を成長させる」と教えてあげたいです。

## 8月22日(火)2学期始業式 全員で元気な顔で会いましょう！

